

¥0
FREE

Pearl Flute
A Tradition of Innovation

ザ・パールフルーティスト2022
the Pearl Flutist

2022年度
全日本吹奏楽コンクール
課題曲特集!

永久保存版!

課題曲
フルートパート
徹底解説!!



相澤 政宏
東京交響楽団
首席フルート奏者



白水 裕憲
群馬交響楽団
フルート奏者



神田 寛明
NHK交響楽団首席奏者
桐朋学園大学教授



井上 登紀
大阪フィルハーモニー交響楽団
フルート奏者



磯田 純子
オオサカ・シオン・ウインド・
オーケストラ
フルート・ピッコロ奏者

パールフルートキャンペーン情報
パールフルートギャラリーのご案内



《徹底解説》2022年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲 I

やまがたふぁんたじい〜吹奏楽のための〜 杉浦 邦弘

(第31回朝日作曲賞受賞作品)

解説:

相澤 政宏

Masahiro Aizawa

東京交響楽団首席フルート奏者



皆さん、やまがたふぁんたじいを演奏するにあたって、まずは山形県の地理、風土、素敵なお蔵王山や最上川、かみのやま温泉、米沢牛、さくらんぼ、つや姫、尾花沢スイカ、天童の将棋の駒など、是非沢山の山形を感じてイメージを膨らませて欲しいです。

僕の出身はお隣の宮城県なので、少年時代に色々な山形の思い出があります。でも、紙面にすると本題に入る前に終わりそうなので、この辺で止めておきます。

この曲、フルートのザ・ソロから始まりますね。拍子感がありますが、rubatoと書いてある通り、メトロノームの縦拍にとらわれず、あなたのファンタジーで演奏してください。フルートらしいソロだと思いますが、このソロ、尺八の演奏イメージがとても役に立つと思います。僕は「尺八民謡〜宮城・福島編」というCDを持っています。オーケストラでも日本人作曲家の曲には、時々このようなパッセージがあり、インスピレーションを得たい時によく車で聴いています。車窓に合うし素晴らしいです。山形民謡の尺八版もあるはずですよ。是非聴いてみて下さい。

8小節目の装飾音符についてのアクセントはしっかり表現したいです。

15小節目など時々ユニゾンではなく4度平行に動き、日本的な和音になっています。完全音程なので、しっかり合わせて下さい。

31小節目からは木管の響きのブレンドを大切にしたいところです。

43小節目の横アクセントと44小節目の縦アクセントの違いを出したいです。縦アクセントの方がガッツリ系です。

68、69小節目は強く吹きますが、フルートの音程が高くなりやすいので(特に69小節目)全体のサウンドを壊さない音程を意識しましょう。

150小節目はmpですが、低い音から始まるので、しっかり響いた芯のある音で始まって下さい。

159小節目や179小節目(picc.は181小節目)から始まるパッセージですが、中音Esの時に左手の人差し指をしっかりと離して下さい。そうしないとこもった変な響きになってしまいます。

45小節目〜51小節目、159小節目〜162小節目、179小節目〜182小節目など、全体を通して16分音符はスラーでもハッキリ粒を聞かせてください。早口言葉ってハッキリ喋りますよね?そんな感じです。そうしないとモヤモヤ何を吹いているのか分からない感じで、ちゃんと聞こえてきません。ではどうしますか?もちろん指が正確に動く事が必要ですね。リズムを変えたりアーティキュレーションを変えたりして練習しますね。忍耐強く練習してみてください。でも、粒が聞こえるためには指が正確に動くだけでは不十分です。指と同じくらい(むしろ指よりも)大切なのは『音』です。いくら指が回っても音が“ボサボサ”だったり、響き

にムラがあるとちゃんと出来ている様には聴こえません。全ての響きが統一され、芯があって倍音がしっかり含まれた音で吹く速いパッセージでなければなりません。僕は速いパッセージは4倍くらい遅くして一個一個の音の響きが良いか、繋がっているかを意識して練習します。「ロングトーンは速いパッセージをしっかりと粒を揃えて吹くためにも必要である」ということを肝に命じてください。16分音符1個1個が、ロングトーンで吹いているときの自分のベストの音をしているか意識しましょう。音がちゃんとしてなければ、いくら指が正確に回っても、指が回っていないのと同じくらい出来てない様に聴こえることが多々あります。

素敵なファンタジー、期待しています。



《徹底解説》2022年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲 II

マーチ「ブルー・スプリング」

鈴木 雅史

解説:

白水 裕憲

Hironori Shirouzu

群馬交響楽団フルート奏者



Blue Spring、直訳すれば『青い春』となります。作曲者によれば、日本語の『青春』をイメージして作曲されたそうです。確かに大人になってしまえば、皆さん達の世代の若い輝きを、懐かしく羨ましく思う事がよくあります。そんな憧れを、躍動的なメロディと、その年頃ならではの柔らかな心に触れるモチーフを使って、わかりやすく表現されています。

この作品は、演奏する側のその若さ、誠実さ、優しさ、そして夢などによって、聴く人の心に、新鮮に爽やかに、そして懐かしく響くに違いありません。素敵な青春の思い出をみんなで作りましょう!

まず、冒頭はブリチアルディ key を用いて、B♭をアクセントで強調してから良い音程でトリルしましょう。フルートは強くというより良い響きで芯のある音、ピッコロはほんの少し高めに輝かしく吹くと、効果的です。

3小節、4小節は1拍目のアクセントは勿論ですが二つ目のアクセントがとても重要です。みんなでタイミングをバッチリ合わせて若さのキレを演出しましょう。

Aからクラリネットとサクソフォーンが第一テーマを演奏し、**B**からフルートとピッコロがオブリガートの音程が出てきます。これは勿論メロディを邪魔しない範囲で、少し大きめ、硬めにハッキリと吹いた方が良いでしょう。クラリネット、サクソのメロディとは役割が違いますから、その違いを強調します。トリルの前の十六分音符は後ろに詰め

て大きくハッキリ、短前打音の様に吹きます。**C**のトリルの前の三連符は詰めずに、正確なタイミングとリズムで三つとも大きく。このトリルは抜かずに保ち次の小節に繋がります。山型のアクセントは打楽器の様に、二つとも表拍の様に、叩く♪♪。40小節の3拍目4拍目はクラリネットと音程を合わせて Trio の頭を決めましょう!こういうメリハリはとても大切です。

Fからまた、クラリネットとサクソの第二テーマが始まり、**G**からフルートも参加します。この音域ですと、フルートの音はクラリネット、サクソの響きに包まれてしまいます。良い音程と豊かな響きでメロディの一員になって下さい。心を込めて夢を見ましょう♪決して目立とうとしてはいけません。響きを支える仲間になって下さい。66小節からピッコロが出てきます。ピッコロも同様ですが、ピッコロは少し聴こえてきます。みんなの響きに光を加える感じで少し明るく歌いましょう。ソロではないのでバランスのセンスは大切です。

Hからは**C**と同様に演奏します。第三オクターブのGとAのトリルは、Gと『As+右手中指のトリル key』を交互に頑張ってトリルすれば、ほぼ正しい音程が取れます。ピッコロは楽器によっては大変難しいかもしれないので、他の方法もチャレンジしてみてください。

※ピッコロの第三オクターブのGより上の音は、人間の耳では全音のトリルと半音のトリルを聴き分ける事が、ほとんど不可能です。ですから半

音でもバレなければ良いのです。気合いでなんとかなるかもしれません。(笑)

Iから四小節メロディを歌った後は、またオブリガートの十六分音符と八分音符が続きます。メリハリよく軽やかにハッキリと演奏しましょう。十六分音符は正解に吹きますが、七連符は勢いが大切です。頭の中で『ミファソ』と『ラシドレミ』に分けて後半を早く大きく吹きます。♪♪♪!

このあたりの音域は正確な音程も大切です。全音と半音もハッキリ吹き分けるつもりで、誠実に、若さと正義感で吹き切ってください!

素敵な青春を過ごせます様に!



《徹底解説》2022年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲Ⅲ

ジェネシス

(2022年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品)

鈴木 英史

解説:

神田 寛明

Hiroaki Kanda

NHK交響楽団首席フルート奏者・桐朋学園大学教授



《徹底解説》2022年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲Ⅳ

サーカスハットマーチ

奥本伴在

解説:

井上 登紀

Takaki Inoue

大阪フィルハーモニー交響楽団フルート奏者



作品冒頭に記された Grandioso という言葉は「雄大な、壮大な、堂々とした」などの意味であることをご存じでしょう。プレーヤーに課せられるのは、そのような音を出しそのように演奏する事です。では Grandioso な音、Grandioso な演奏とは何か？

真っ直ぐ、太く、輝かしく十分な音量、そして均一な音色とヴィブラートが必要です。それらを得るためには、普段からの基礎練習(ロング・トーンなど)を合理的な奏法(良い姿勢、深いブレス、適度な緊張と充分なリラックス)で行い、耳とアタマを使って自分でチェックすることです。

この作品には複雑なリズムや音型はおろかトリルもありません。技術的には易しい作品ですが、作曲者の言葉にあるように「楽譜を読むことから表現を考えるという基本を見直す」ためには、楽譜を丹念に読むこと、深い洞察力が必要です。

練習番号 **A** は 1 拍目の付点 8 分音符は 4 分音符のイメージで、後に続く 32 分音符との間が「ちぎれない」ように「同じ息で吹く」ことが大切です。そのために譜例 1、2 の「練習のための音型」を用いて練習します。譜例 1 はメロディーの骨格です。32 分音符は後から付けられた「飾り(装飾)」なので、骨格から「はがれず」一体化する必要があります。このような後打音的な音符や、広い音程の跳躍は音の繋がりが損なわれる事が多いので注

譜例 1
メロディの骨格

譜例 2
広い音程をゆっくりしたリズムで 少しずつ変化 完成

意が必要です。練習の原則、「出来ないところ」だけを「やさしいやり方」で「ゆっくり」から「くり返し」「耳を使って」練習します。13 小節目なども同様な「練習のための音型」を考えましょう。

練習番号 **B** は面白いリズムです。ここでは 3/8 + 3/8 + 2/8 として書かれています。と言っても意識しすぎると上手くいきませんから、C(ド)の音に少しアクセントを付けて、8 分音符はすべてスタッカートで吹きます。タンギングしない 8 分音符にも、息のコントロールでほどよく leggero(軽い、敏捷)なアクセントを付けます。18 小節目は 2/4 拍子なので 2 分音符は自然に抜ける感じで、ブレスを取る分やや短めに演奏します。

フルートらしい、軽やかなパッセージの後は練習番号 **C** の Animato e cantabile です。ここでは legato(スラーのことですが、イタリア語の意味は「連続」です)で歌います。25 小節目 3 拍目のスラーの切れ目は途切れずに、27 小節目 1 拍目のスラーの切れ目は区切るべきでしょう。3/4 拍子に注意! 28 小節目 2 拍目はフレーズが終わる感じでは無く、3 拍目から突然方向を見定めて再スタートするような緊張感が必要です。subito(すぐに) *mp* ですが力強い音色と持続的な crescendo

で次のシーンへ進みます。

練習番号 **D** は音符の繋がりを保ちつつレガートでメロディーを歌いましょう。2 小節のフレーズがくり返されますが、2 度目(35 小節目)にはアクセントが付いているので異なる表現が必要です。練習番号 **E** は音型の終わりが 8 分音符の場合と 4 分音符の場合があり、明確に区別されています。このようなアーティキュレーションや音量などの細部に関することは、指揮者に指摘される前に気付く事が大切です。

練習番号 **F** からはクラリネットへ主役が交代され、フルート・ピッコロはオブリガートです。スコアを見るとわかりますが、クラリネットのスラーとフルートのアクセントがコントラストとして描かれています。2 分音符がクラリネットの「邪魔にならない」ように、音量と抜き加減に注意します。47 小節目からメロディーに合流するときは、音量音程音色を先行する楽器に合わせつつ「少し目立つ」気持ちも大切です。でも、フルートの第3オクターブは大きく聞こえるので細心の注意を!

練習番号 **H**、Affettuoso は「優しさ、情愛、情け深い」という意味です。大切な人や事柄を想像させるかのような、暖かみのある音色と柔らかく広がりを感じさせる表情が相応しいでしょう。練習番号 **K** の小節最後の ^ アクセントは特に強調します。最後の小節 1 拍目は 8 分音符二つともアクセントです。

サーカスハットマーチを見ていきましょう。作曲してくれた奥本さんも書いていますが、サーカスの演し物を観てドキドキする感覚を伝える感覚で冒頭は練習しましょう。出だし 2 小節間トリルになっていますね。ここは指使いが合っているだけでは曲の雰囲気合わないかもしれませんから華やかな感じのイメージで、今から何が始まるのかしら? というドキドキ感が初めて曲を聞く人たちに伝えたいと強く思いながら演奏し始めましょう。

3 小節目に出てくるリズムこの曲の中でよく出てきますね。(8 分 4 分 8 分)(タッタ〜タッタ)このリズムは裏拍を感じて演奏するリズムですね。音とリズムがあっても動きを感じられないのもつらいのでから気をつけて! 6 小節目の 3 拍目の裏の休符はすべての楽器がお休みですね? なんと〜音が残りすぎないように気をつけましょう。7 小節目の 3 拍目の装飾音符と 8 小節目の 3 拍目は音と音をぶつけている効果のある音なんです。少し音楽に方向性を持たせて向かっていってみてください。

7 と 11 小節目は同じことをやっているのに次の小節の音、2 回目の方が高さがしっかりとあるのがわかりますか? この 12 小節目の F の音はしっかりとここ違うんだよ! ってアピールしましょう。音だけが淡々と変わっていかないように気をつけて。 **B** に入って 15 小節目の 3 拍目をみてください。ここだけ 16 分音符になってますね? ここは他の 8 分音符よりも 16 分音符の方を強調してみましょう。

アクセントが全ての拍に書いてありますが中でも 3 拍目の裏! ここ大事です! 切れ味が勝負です。 **C** に入ったらピッコロにソロが来ますね! 心の準備をして・・・どう吹こう・・・迷わずに行くために *mf* の表記に弱くなりすぎないように気をつけましょう。ここで一番大事なのは **C** からの 1 小節半のメンバー全体の音楽(刻み)にしっかりソロで受け応えるイメージが大事ですよ! これどうかしら? という全員のリズムに対してピッコロがそれはこうじゃないかしら。するとまた 27 小節目にじゃあこれはどうですか? とくるので再びピッコロがそれならこうでしょう! と自信を持って答えていくイメージ。

どうでしょうか? きつとうまくいくはず。音楽で会話しているように吹けると最高ですね。32 小節目は前半の *mp* から *f* ! この差をいかに驚きに変えられるか! ただ大きい音でもつらいですよ。 **D** からはテンポ感を少しゆったり気味に、そして音楽を横に横に歌うように変化しますね。 **E** までのサクスをよく聴いて流れに乗るように! サックスが演奏していた形と 49 小節目がたどり着く 50 小節目の音が違いますね? フルードたちは 2 回目の大きな流れになるので 50 小節目の音にしっかりとリフレッシュしていきましょう。その先 51 小節目の G ♭はおしゃれに吹けるといいですね! 普通に演奏すればただの G でよかったのにあえての ♭! これがカレーのスパイスのようにピリッと一瞬なのですが効果的に聞こえるように吹いてみましょう。 **G** から Grandioso がありますね。堂々と行進し

ているような優雅な感じが出せるように! 役者さんになったつもりで 4 拍子を大きく体全体で指揮する感覚です。

その先 **H** でテンポが一気に戻りますね? **H** までの大きく表現していた指揮を **H** からはコンパクトにキビキビと小さく指揮をする感覚です。メトロノームの数字だけをみても流れに乗れませんから気をつけて! 中間部の **D** のサクスが演奏していたメロディーを **H** からはたくさんの仲間とともにより元気よく歌っていきましょう。77 小節目・78 小節目の切れ味のあるリズムと 79 小節目の少し横に歌う違いに気をつけましょう。

ゴール前になって気が緩まないように! 最後の装飾音符も **G** と **A** にある ♭! これが最後の最後まで意外性と驚きを表現しているはずですよ。

ここも音だけが合っているようにならないように! 曲全体通してとにかくドキドキ感、ワクワク感がなくならないように。音だけを並べるのではなく丁寧に譜読みをしたその先に楽器で、音楽で表現するんだっていう気持ちを忘れないように楽しんでください。

さあ、サーカスの開演です! 張り切っていきましょう!



《徹底解説》2022年度 全日本吹奏楽コンクール 課題曲V

憂いの記憶 - 吹奏楽のための

(第13回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第1位作品)

前川保

解説:

磯田 純子

Junko Isoda

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ フルート・ピッコロ奏者



この曲は現代奏法がどのパートにも出てきます。普段一般的な吹奏楽曲では殆ど目にしない音符の書き方や記号も出てきますよ。ヴィブラート有無指定や、かけるにしても速さの指定もあります。

例えば Picc には冒頭から5小節目や **A** の2小節目に、1拍の中で音符の旗本数が減り、段々ゆっくりしたり早くしていく音価が書かれてあります。

そして全てのフルートセクションに出てきますが、クレッシェンドのスタートに小さい○、デクレッシェンドのお尻にも○が付いているのがあると思います。クレッシェンドの時は、音量を限りなくゼロ発進で、いつの間にか音が始まっている…というように、こういう時はタンギングの発音は無しで、ほんの少しの息のみ吹き込みながら始めて下さい。

そしてデクレッシェンドでの音の終結は、本当にいつの間にかなくなるかのように消えていって下さい。息のコントロールと腹圧の支えが要になってきますね。

このように、とにかく注釈にも色々言葉で説明が書かれてあるので、見落とさずにいて下さいね。

B の1小節目 Fl & Ob で *ppp* の音量で始まる音ですが、ここもタンギング無しで吹き始めてみましょう。自分の中での最小音量を狙うため、低い音程でスタートしてしまいがちになるので、出始

める時は注意してください。

Picc は **C** のところで Fl に持ち替えますが、その先のフレーズは2拍半の休符で持ち替えなければなりませんので、Picc を膝の上に置いておき、すぐ持ち替えられるよう準備しておいて下さいね。椅子の上やスタンドに立てたりしては、残念ながら間に合いません…。

G の3小節目の3/4拍子のところは、8分音符でリズムを刻むのが、Picc と打楽器のみなので、はっきり自信をもって吹きましょう!

port.(ポルタメント) 指定がどのパートにも出てきています。73小節目なのですが、ポルタメントして半音下がった音に到達するタイミングが、各パート絶妙にずれていますので、意識しておいて下さい。

ポルタメントのやり方ですが、指定された音から半音下に移動するまでに、楽器を内側にゆっくり向けていながら(ピッチを急に合わせる時など、下げたい時に楽器を内向ける方法) 記譜の音に音程を近づけて行きます。そして到達音の運指に変えるのですが、出来るだけ自然に気を付けながら行って下さい。音によっては、その到達音の運指にしなくてもいいかもしれません。練習しながら自然に音がそのように変化していけるか、よく耳で聴いて確認して下さい。チューナーで音程変化を確認するのも良いでしょう。

いつの間にか半音下がっている…という風に聴こ

えたら成功です。

最後から2小節前の1stFl ですが、微分音のクォータートーン(四分音)を、ノンヴィブラートで吹くように書かれてあります。この場合、通常の Gis(ソ#)より高く音程を取って演奏するのです。楽器を少し外に向けて高めに吹くか、リングキイの人は左手の中指が薬指の指穴をほんの少し開けると、音程が高く出来ますよ。

このクォータートーンの記号を初めて目にした人も多いかもしれません。#の記号が縦に三本線ありますね!!(印刷ミスではありませんよ!れっきとした現代奏法です。縦線が1本なら四分音低く、3本なら四分音高く音程を作るのです。) 正確な音程でなくても良いと作曲者も書いてありますが、Picc と 2ndFl は通常の Gis(ソ#)の音ですし、3人で吹いていて、微妙に音程がズレていないと作曲者の狙っている雰囲気が出ないでしょう。思わず音程をピッタリ合わせてしまわないよう、怖がらず、わざとずらして見て下さいね!

何と!今年度でこの課題曲V(現代曲粋)は最後なのです。来年度からは無くなり、存在なくなります。この曲を今年選んだ団体の皆さん、ぜひ記憶に残るような演奏が出来ますように!!



ハンドメイドマエスタの資質を受け継ぎ、総銀製フルートの持ち味を存分に引き出したモデル。

CANTABILE
カンタービレ

フラッグシップモデル マエスタの資質を受け継ぎ、シルバー素材の持つ、深みのある音色に加え、さらに吹きやすさと総銀製ならではの優雅な響きを備えたセミ・ハンドメイドフルートがカンタービレです。フルーティストが求めるエッセンスを余すことなく注ぎ込みつつお求めやすい総銀製フルートとして愛され続けているモデルです。

品番		税込価格
F-CD925シリーズ	(総銀製セミ・ハンドメイドAg925)	¥522,500~
F-CD958シリーズ	(総銀製セミ・ハンドメイドAg958)	¥566,500~



フルートケースカバー



フルートケースカバー

品番		税込価格
LL-FLCC1	C足部管用	¥8,800
LL-FLCH1	H足部管用	¥9,350

■サイズ: C 足部管用・H120 x W420 x D80mm(外寸) / H 足部管用・H120 x W460 x D80mm(外寸)

ピッコロケースカバー

品番	税込価格
LL-PIC1	¥7,480

■サイズ: H100 x W345 x D60mm(外寸)

NEW ピッコロケースカバー



春割

フルートを
はじめよう!

期間中最大 **¥5,000 off!**

キャンペーン開催!

2022年4月28日(木)～2022年6月28日(火)

◆◆ 5000円off ◆◆
ハンドメイド・マエスタ
カンタービレ
エレガント

◆◆ 3000円off ◆◆
エレガント・プリモ
ドルチェ・プリモ
ドルチェ
ブリランテ
プレスト
アルトフルート
バスフルート
ピッコロ

この春、パールフルートではハンドメイド・マエスタ、カンタービレをはじめ、エントリーモデルとしておすすめのドルチェ、ブリランテ、プレスト、アンサンブルには欠かせないバスフルート、アルトフルート、ピッコロまで、店頭販売価格が更にお得になる「春割」(特別割引)を実施します。ぜひ、この機会にフルートをはじめてみませんか?

キャンペーン方法

STEP①

楽器店で対象のフルートをご注文。

STEP②

購入時に保証書の必要事項を記入し店頭スタッフへお渡し(保証書は返却されます)

STEP③

その場で店頭価格より
¥5,000 or ¥3,000 off!

Pearl Flute Gallery

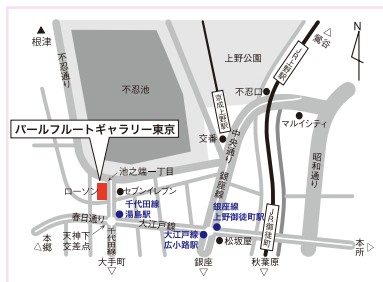
パールフルートギャラリー

フルーティストのためのスペース パールフルートギャラリー

パールフルートギャラリーではフルートに関するご相談、レッスン受講、リペア、コンサート等のご案内を承っています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

Pearl Flute Gallery TOKYO <パールフルートギャラリー東京>

〒110-0008 東京都台東区池之端 1-1-1 MK 池の端ビル 3F
TEL.03-3836-1610 FAX.03-3836-1673
●営業時間 10:30AM～6:30PM (月曜、日祭日定休)

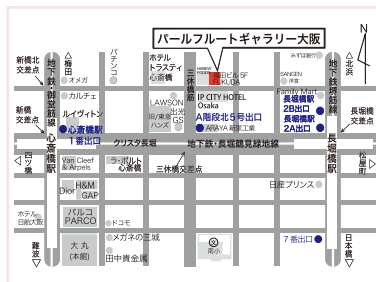


地下鉄千代田線・湯島駅下車1番出口より
徒歩1分

J R、地下鉄・上野駅下車徒歩7分
京成上野駅下車徒歩5分
地下鉄銀座線・上野広小路駅下車徒歩5分
地下鉄大江戸線・上野御徒町駅下車徒歩5分
JR線・御徒町駅北口下車徒歩7分

Pearl Flute Gallery OSAKA <パールフルートギャラリー大阪>

〒542-0081 大阪府中央区南船場 2-11-13 福田ビル 5F
TEL.06-6282-0660 FAX.06-6282-0680
●営業時間 10:30AM～6:30PM (月曜、日祭日定休)



地下鉄御堂筋線・心斎橋駅 2番出口より
クリスタ長堀経由A階段北5号出口徒歩1分

地下鉄御堂筋線・心斎橋駅 1番出口より
徒歩5分
地下鉄長堀鶴見緑地線・長堀橋駅 2A出口より
徒歩5分
地下鉄堺筋線・長堀橋駅 2B出口より徒歩5分

パールフルート インフォメーション



パールフルートカタログ
パールフルート取り扱い扱い
楽器店にて配布中



パールフルート
オフィシャルウェブサイト

<https://pearl-music.co.jp/flute/>

パールフルートSNS

Twitter
@pearl_flute_jp



Instagram
@pearlflute_japan



YouTube
@PearlFluteJapan



お取扱店